

会 議 録

会議名		第5回光が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年2月16日(金) 19時30分～21時00分		
開催場所		光が丘公民館 大会議室		
出席者	委員	23人(別紙のとおり)		
	その他	6人(アセットマネジメント推進課長ほか1人、こども・若者政策課長ほか1人、生涯学習課長ほか1人)		
	事務局等	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか1人、地域活力推進員1人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	6人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 光が丘地区の課題への取組について (2) 地域活性化事業交付金について (3) 令和6年度のまちづくり会議について 4 その他 (1) 光が丘地区学校跡施設利活用事業の今後の方針について 5 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、●は事務局の発言、■は担当課の発言)

1 開 会

割柏会長が開会

2 あいさつ

割柏会長あいさつ

説明の都合上、順番を入れ替え、4 その他（1）から議事が進行された。

4 その他

(1) 光が丘地区学校跡施設利活用事業の今後の方針について

光が丘地区学校跡施設（青葉小学校）の利活用事業について、庁内検討を踏まえた今後の取組の方向性について、アセットマネジメント推進課及び子ども・若者政策課より説明が行われた。

<説明要旨>

- ・光が丘公民館を青葉小学校の跡地に移転する。
- ・青葉小学校のB棟を解体し、「公民館機能」、「地域・子ども活動機能」、「青葉児童館の機能」に必要な建物を新築する。
- ・A棟、C棟は療育センター（陽光園）、保育園等として活用する。
- ・未利用となった土地は売却等により、事業の財源として活用する。

<主な意見・質問等>

○校庭が大幅に狭くなる感じがする。並木3丁目と4丁目自治会の一時避難場所にもなっているので、その点を踏まえたスペースや車両避難場所等の問題もあると思われるので、避難所運営協議会へ避難所として運用する場合の要望等も聞いた方が良いのではないか。避難所運営協議会も説明する関係団体の対象にしていきたい。

⇒■災害拠点等の話については、市の他の関係機関ともこれから調整を行っていくので、避難所運営協議会への説明も調整させていただきたい。

○今後の取組の方向性を覆そうと思っている訳ではないが、公民館を中心とした複合施設の中に、児童館機能、地域・子ども活動機能を組み入れることは、それぞれ全く性質や機能が違うことから、資料で示された床面積では足りないと思われる

る。

⇒■確かに違う性質をもった機能が一つの建物に入るが、これまでに地域の皆様からいただいた意見を生かしつつ、今後また検討していく中で、それぞれの機能はそれぞれの機能として活用できるような建物とし、子ども達の居場所としてもしっかりと機能するような複合施設にしていきたいと考えているので、皆さんとこれから一緒に検討していければと思っている。

○公民館を複合施設として新築することは賛成である。現在の場所は高さ制限があるのか。それぞれの機能を集約することでスペースや使いやすさの問題が考えられるのであれば、5階建てくらいにしたらどうか。高さの問題があるならば、地下に作る方法もあるのではないかな。

⇒■予算的なこともあるが、使いやすさ等の問題については、今後また一歩先に進んだ段階で、いただいた意見を踏まえながら、皆さんと一緒に検討していきたいと考えている。

○光が丘公民館を改修した場合は1年間の休館、新築の場合の休館期間は1か月とのことであったが、本当に1か月程度の休館で済むのか。

⇒■参考ではあるが、現在、星が丘公民館は大規模改修工事を行っており、昨年6月から休館している。リニューアルオープンを今年4月中旬頃に予定しており、引っ越し作業を3月中旬頃から考えているところであり、新築の場合の休館期間は引っ越し作業に要する1か月程度になるのではないかとと思われる。

○整備費については36億円かかるとのことであるが、土地の売却収入が18億円ということは、残り半分を市の予算で賄うこととなるのか。また建築費が上がると予算が足りなくなり、スペース等に影響するのではないかと心配するがその点は大丈夫か。

⇒■そうである。予算額については、あくまでも現時点での概算でお話をさせていただいている。また当然物価上昇は見込まれるが、物価が上昇したからといって面積（スペース）を削減することは考えていない。

○資料では、複合施設の諸室で、調理室とランチルームが併記されているということは、ただの一つの部屋で今と何も変わらないのではないかな。また保育室と遊戯室も併記されているが、保育室は幼児、遊戯室は小学生が対象で、それぞれ年齢の違う子ども達が使う部屋であり、一つの部屋で済ませることができると疑問である。

⇒■複合施設の諸室の記載は、あくまでもイメージであり、機能が重複・類似しているものを示させていただいているものである。複合施設の全体面積を180

0㎡と示させていただいているが、細かく諸室を決めている訳ではない。今いただいた意見も踏まえ、今後の市民検討会でまた皆さんで話し合い、例えば諸室が一緒だと機能しないということであれば、どのようにすれば良いのか、こういう使い方や工夫をすれば一つの部屋でも可能であるなど、そういうことも考えなければいけないと思う。一つの部屋にまとめると決まったわけではなく、あくまでも例示したものであるのご理解いただきたい。

○今回は市の意思決定のプロセスにも問題があると思う。市民検討会にあたって前提条件が違っていたら全く違った検討になったと思う。この点については、市としても反省していただきたい。また、今後検討していく複合施設もただの数合わせではなく、この施設があるから地域がよくなり、住みたいと思うようなものにしていっていただきたい。

⇒■よりよくしたいという思いは、市としても皆さんと同じ気持ちでいるので、同じ方向を向いて今後進めていきたいと考えているので、引き続きよろしく願いしたい。

⇒○同じことにならないよう、適宜適切に機会を捉えて庁内でも情報共有や市幹部への報告を行っていただきたい。

⇒■承知した。

○光が丘地区は住宅密集地であり、小学校跡地のような広場は大切である。今後並木小の再編も予定されており、青葉小跡地だけでなく地域全体を俯瞰するような視点を持って取り組んでいって欲しい。

○今後、議論はこれからまだ続くということである。まちづくり会議としては、市からの説明を受け、委員の皆様の理解を頂き、先へ進めていくということで決議してよいか。

⇒了承された。

3 議 題

(1) 光が丘地区の課題への取組について

まちづくり部会長より次のとおり報告があった。

キャンプ淵野辺留保地に関して、市の方で国と交渉をし、覆土の話を進めていただき、2月2日にまちづくり会議、パークゴルフ協会、市の関係課が現場で集まり、覆土の場所等について確認を行った。

続いてこれまでの調整経過等について事務局から補足説明を行った。

<説明要旨>

1月16日、市の関係課にて国へ留保地(Yゾーン)多目的広場の更なる有効活用及び安全性の向上を目的とした覆土の実施及び国の許可を得ず設置されている仮設倉庫の取扱いについて相談した結果、覆土の実施の了承と仮設倉庫については、除草用具など維持管理や当該事業を行う上で必要なものが収納されている倉庫であれば問題ない旨の了承を得ることができた。ただし、現在6台設置されている仮設倉庫の数については、必要最小限にしていきたいと思っており、今後、各協会と市の関係課で調整していくこととしている。

なお、除草作業については、当初11月のまちづくり会議において、ご協力をお願いをしたところであるが、覆土に用いる土について、他の公共工事の発生土を活用することができ、予算対応が可能となったため、1月25日から26日にかけて、市(公園課)において除草作業を実施した。

先ほど平林部会長から報告があったとおり、2月2日、まちづくり会議委員、パークゴルフ協会会員、市の関係課の立会いのもと、覆土場所の確認及び確定を行った。なお、市とも調整を行い、北側のコンクリートの枠が出っ張っている部分も含め、希望されていた全ての場所への覆土を実施することとした。

覆土の工期については、既に作業は始まっているが、3月末までを予定しており、工事期間中は多くのダンプなど工事車両が出入りすることから、安全確保に万全を期すため、団体の利用は中止させていただいている。

<主な意見等>

○これまで全く進捗がなかったが、市の多くの関係課の方に協力をいただき覆土作業が進められていることに対し大変感謝を申し上げる。工事期間中は工事車両が入り危険なため、くれぐれも現場に立ち入らないように注意願いたい。

庁内調整経過と今後の予定については、皆さんご理解いただいたということよろしいか。

⇒了承された。

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局より令和6年度の地域活性化事業交付金の概要および募集方法について説明を行った。

<説明要旨>

令和6年度の交付申請書受付は4月1日より開始し、4月30日までを1次募集期間とさせていただく。

<主な意見等>

○これまで、光が丘地区でも様々な事業に活用してきたが、交付金ありきで事業を実施してきたのではないか、また交付金を活用したことにより本当に地域が活性化したのかなどと感じている。地域活性化事業交付金のあり方等について見直していく時期にきていると感じており、引き続き委員の皆様からご意見を頂きながら交付金のあり方等について考えていきたいと思う。

(3) 令和6年度のまちづくり会議について

事務局より令和6年度のまちづくり会議について、全6回のまちづくり会議を予定している旨の説明を行った。

5 閉 会

割柏会長が閉会

以 上

光が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	光が丘地区自治会連合会	会長	割 柏 秀 規	出席
2	光が丘地区自治会連合会	副会長	阿 部 俊 夫	出席
3	光が丘地区自治会連合会	副会長	鈴 木 勝 雄	出席
4	光が丘地区自治会連合会	副会長	南 雄 二	出席
5	光が丘地区自治会連合会	副会長	熊 谷 由 加	欠席
6	光が丘地区社会福祉協議会	会長	飯 沼 守	欠席
7	光が丘地区社会福祉協議会	会計	小 山 千 秋	出席
8	光が丘地区民生委員児童委員協議会	会長	石 井 和 子	出席
9	光が丘地区民生委員児童委員協議会	副会長	岸 豊 治	出席
10	光が丘公民館	館長	加賀谷 育 子	出席
11	光が丘公民館	青少年部長	佐 伯 行 弘	欠席
12	陽光台公民館	館長	前 田 進	出席
13	陽光台公民館	体育部長	佐 藤 直 樹	出席
14	光が丘地区子ども会育成連絡協議会	会長	羽 鳥 亜樹子	出席
15	老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区)	光が丘地区	佐 藤 健 司	出席
16	光が丘地区交通安全母の会	会長	田 中 友 紀	出席
17	交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部)	光が丘支部 支部長	服 部 幸 一	出席
18	小学校PTA	光が丘小学校PTA会長	甲 田 秀 昭	欠席
19	中学校PTA	緑が丘中学校PTA会計	小 林 直 子	出席
20	小・中学校長	陽光台小学校校長	渡 邊 直 展	欠席
21	和泉短期大学	専任講師	吉 田 久仁子	出席
22	青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区)	光が丘公民館区	岡 見 益 義	出席
23	防災専門員・防犯指導員	防犯指導員	村 松 映 介	出席
24	避難所運営協議会	光が丘小学校 避難所運営協議会会長	青 木 進 一	出席
25	光が丘地域包括支援センター	係長	大 谷 尚 功	出席
26	一般社団法人光が丘ふれあいセンター	代表理事	平 林 清	出席
27	有識者		石 井 トシ子	出席
28	有識者		西 本 敬	出席